NPO 法人　ジャパンデンタルミッション

海外活動報告書

場所：バヌアツ共和国・タンナ島

期間：2015 年 7 月 11 日～7 月 20 日

参加メンバー：

川本麻央(D), 小西あゆみ(H), 関根淳(D),スティーブン(D),上崎秀美(D)
伊藤玲(D),出口紗綾子(D),沢田宗久(D),今岡鮎美(V),大西富子(H)

活動内容

7月 12 日(日)

11 日に関西、関東組がそれぞれの空港からそろって出発（前乗りと後発のメンバーを除く)。重量オーバーの歯ブラシは翌日発送することに。ポートビラ到着後、16：30 メラネシアンホテルにて前乗りメンバーと合流(計 7 名になる)。

メラネシアンホテルに置かせていただいていたコンテナの変換機作動確認。タンナ島の変換機がサイクロンで故障していた時の為に持っていくことに。

7 月 13 日(月)

ポートビラ空港で超過料金 13690VT 発生。11：00 タンナ島到着。空港のガラスは割れているままであったり屋根が飛ばされていた。

お弁当を市場で購入後 13:00 ラナケルホスピタル到着、翌日の診療準備開始。倉庫に置いてあったコンテナ、ポータブル 2 台は無事。今回日本から持って行ったポータブルが稼動せず、また日本に持って帰ることに。

診療室の窓ガラスが外れていたので布で覆う。診療室にあるモリタのユニットは稼動するが、バキュームホースがちぎれていて補修できず、抜歯専用ユニットにする。

ポートビラ空港から無言で一緒についてきた人が実は派遣されてきたバヌアツの歯科医だとわかり、最終日までメンバーに加わる。(Dr スティーブン)

窓ガラスが無くなっている病棟も沢山あった。病院のスタッフルーム４棟のうち３棟は壊れたまま。１棟は完全崩壊。

7 月 14 日(火)

9：00 ラナケルホスピタル組（上崎 D・伊藤 D・スティーブン D・小西 H）診療開始。数人の患者がすでに外で待っていた。

10：30 イナムラ組（川本 D・大西 H・出口 H・今岡 V）到着。連絡が行っていないという事態だったが、快く許可を得てすぐに生徒を一教室に集めてもらえた。事前に２５０名と聞いていたが、サイクロン後生徒が離れ、８０人程になっていた。校長に、私たちの今日の目的（①うちわに絵を描いてもらう②ブラッシング指導③検診④必要な子は抜歯）を伝え、抜歯は生徒が OK したらとの許可を得る。

検診は、漏れがないよう先生に順番に生徒の名を呼ぶようにお願いする。生徒たちは検診時、口を空けるのを恥ずかしがっていたが大変スムーズに診ることができた。要抜歯生徒が何人かいたうち１人承諾をえて、生徒全員教室から帰した後に抜歯する。クレヨン生徒全員分、先生方にはペンを寄付する。

14：00 ラナケルホスピタル帰還。そのまま午後の診療に加わる。

病院組は午前中途中で患者が途切れたので外に人を呼び込みに行く。初日は計３５名でクリーニング希望が多かった。

７月１５日（水）

9：00 病院組（川本 D・スティーブン D・大西 H・今岡 V）診療開始。

ロカタイ・レナス組（伊藤 D・上崎 D・小西 H・出口 H）9：30 ロカタイ到着。

生徒１７０名を外に集めてもらい開始。スムーズにいかせるためうちわにお絵かき開始早々、検診を幼稚園児１７名から開始、低学年から診ていく。注意事項や要抜歯の説明を言葉があまり通じない子には先生にわかりやすく通訳してもらう。ロカタイには歯牙フッ素症の児童が４名ほどいた。ユニセフの即席テントが幼稚園児の教室だった。リュックは皆おそろいの水色のユニセフロゴで小さな体にかわいらしかった。検診後幼稚園児は帰宅。

12：00 レナス到着。ちょうど学校は 12：30 までランチタイムだった為、すぐに始められるように道具や器具の準備をしておく。木陰でランチタイムの児童のお弁当を覗いているとタッパーにいっぱいのご飯だけだったり葉っぱにくるんだものだったり、覗いているとこちらがいいよと言うのにココナッツで煮た豆を葉っぱに分けて与えてくれた。教室わきの地面にはサイクロンでダメになってしまった教科書が積んであった。

うちわが１０本ほど足りず、代わりに小さな子には先生に寄付する用のペンをあげた。歯ブラシがまだ航空便で届かないため、永久歯列の児童にも小児用歯ブラシを配る。

ロカタイ・レナスで計１３人抜歯を行う。両校とも要抜歯の児童には児童の同意でここで抜歯していいと先生から許可を得られた。

Ｄｒスティーブンより、タンナ島は結核患者が多いから注意するようにと言われる。

沢田 D・関根 D、ポートビラにてロータリーと会議。翌日タンナ合流予定。

７月１６日(木)

沢田 D・関根 D を 8:40 タンナ空港へ迎えに行くが、飛行機がエンジントラブルで着陸直前にポートビラに引き返したと聞く。12：00 直接ラナケルホスピタルへ無事到着。

航空便の歯ブラシも未だ来ず、行方不明かと案ずる。９：３０病院に着くと既に沢山の患者が待っていた。

病院組（上崎 D・スティーブン D・小西 H・出口 H）ラナケル組（川本 D・伊藤 D・大西 H・今岡 V）歯ブラシが無いため午前のラナケル歯ブラシ指導、検診の予定が無しになる。せめて糸電話工作のお絵かきだけでもしてもらおうと材料を持っていく。先生が生徒と作っておくと快く約束してくれるが、午後にラナケル組が行くとまだ出来ておらず、検診も今日は無理だと断られる。

ラナケル組、またホスピタルに引き返し、診療に合流。

患者が今日はとても多く、トラックの荷台に生徒たちを乗せて引き連れた先生など、計９７名であった。

メンバー：腰痛１名・腹痛１名

７月 17（金）

雇っていたトラックだと片道１時間半のローヤピン往復は持たないだろうとの事（前日にもトラックのタイヤがパンク）別のトラックと運転手を雇う。午前中ラナケル検診。糸電話をみんなに製作してもらう。残りのうちわ、クレヨン、ペン寄贈。１５人の要治療児童がリストアップされ、校長に明日ラナケルホスピタルに来るようにとアナウンスしてもらうが、来るかは彼ら次第。

ラナケルホスピタルに一同戻り、ローヤピンへ。途中空港に歯ブラシが届いているかと願い行ってみると、なんとちょうど届いていた。これでローヤピンで渡せると皆喜ぶ。

15：00 ローヤピン到着。ところが子供たちは金曜日は早く帰ってしまうそうで先生を一人除いてもういなかった。

校庭で遊んでいる子供たちを呼び込むと、すぐにワラワラと集まって来てくれた。集まって来た村の大人たちも一緒にうちわのお絵かきから始める。

沢山あつまってくれたので、先生に教室を借りて、検診スタート。始めると検診が終わった子が家に帰り、自分の家族や小さい兄弟たちの手を引いて連れてきてくれた。村のリーダー格の青年も積極的に参加し、村の人を連れて来たり子供たちを誘導してくれた。教室の外では子供たちは歯科指導の紙芝居にみんなよく見入っていた。ローヤピンでの活動は今までのなかで一番よく笑顔がみられ、和気あいあいとした光景だったと思う。最後に先生に残りの歯ブラシ、タオルを寄贈。真っ白なタオルを見た先生はとても喜んだ表情だった。

生徒は帰っていたものの、子供を中心に約 50 人以上は検診ができた。リーダー格の青年は、村人や自分の子供たちの為にありがとうと感謝の言葉を何度も言ってくれた。この後 Volcano にいくと言うと、そこでガイドをしているというその青年が一緒について来てくれ色々と世話をしてくれた。

20：00 途中霧の中、エバーグリーンホテルへようやく帰還。ホテルの従業員達が歯ブラシを欲しがっていたので渡す。

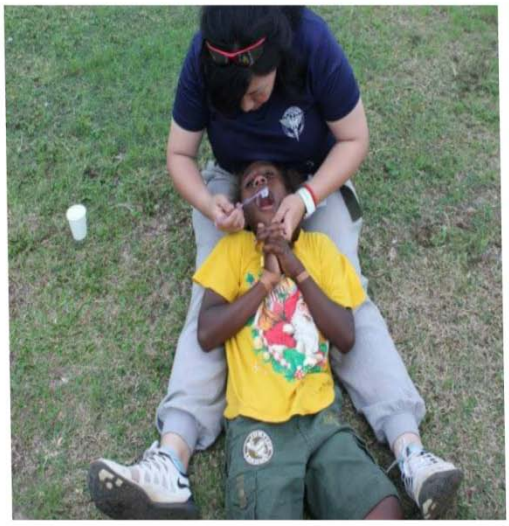
７月１８日（土）

午前診療のみだったが、ホスピタルに着いても待ちの患者はいなかった。ポータブル２台のみ片づけを開始。ラナケルの児童は来なかった。10 時過ぎまで患者１名しか来なかったので全撤収始める。

11 時過ぎ、情報を聞きつけた人たちがトラックの荷台に乗って１０人ほど来たが、すでに機材を撤収していたので残念ながらお断りする。来た人たちも残念がっていた。

土曜日は町の人気があまりなく、外では静かに集会をしているところもあっ

た。日本に送り返すコンテナ、作動しなかったポータブルをホテルへ持って帰る。



お昼は日本から持ってきたレトルトカレーをキッチンで茹でてもらい食べる。

17：20 ポートビラ着。空港に迎えに来ていたセントラルホスピタル関係者の方にドネーションを渡す。

リーダー報告

今回は、１２日に７人（Dr３人、Hy３人、Vol１人）
その後１３日に３人（Dr２人、Vol １人）とビラに集まり
その後７人は、タンナ活動へ　３人は首都ビラでの政府交渉へと
分かれての活動となりました。

タンナでは　学校訪問の際、今回初めての試みとして、昨年から依頼されていた

訪問診療に着手し、子供たちだけでなく　村民も含めてできるだけ希望に添えるように器材を持っての移動となり成果を上げられました。

また、ハリケーンの被害レベルは、各所甚大なものがあり悲惨な状況でもありましたが島民には笑顔がみられ今後の復興が待たれます。

今回のミッションは　幸いなことに　宿泊はホテルであったため　食、住の心配がなく十分な休養が取れ　その分診療活動、訪問活動に全精力を注げたようで充実した成果をあげられたのではないかと思います。

最後に　天候にも恵まれ、順調に活動し、無事帰国できたことをメンバー全員に感謝しつつ　報告を終えます。

上崎

治療結果

	１４日	１５日	１６日	１７日	１８日	合計	
抜歯（本）	21	36	67	12		136	
ＣＲ グセ充(本)	9	20	34	13		76	
ＳＣ（人）	13	11	13	6		43	
Check TBI（人）	6	3	17	2		28	
薬処方					3	3	
合計	49	70	131	33	3		

１６日：エナメル上皮腫紹介１